



第3回印西中学校区学校運営協議会 開催レポート

11月27日、木下小学校で今年度第3回の学校運営協議会を開催しました。印西中学校区学校運営協議会では、会場を持ち回りで開催し、協議会の前に学校参観を行っています。これは、委員の方々に学校内外の教育環境や子どもたちの様子を直接見ていただき、実態を把握し、学校運営改善に生かすためです。

参観では、

- 授業に積極的に取り組む子どもたちの姿
- 廊下に掲示された学習作品
- 気持ちの良い挨拶をする子どもたち

などから、学校が日々大切にしている指導の姿勢を感じ取ることができました。こうした実態把握は、協議会での話し合いの質を高めるうえで欠かせません。



学校参観

今回のテーマ

「教職員の働き方改革～先生が教育に専念できるために、学校・家庭・地域ができること」木下小学校の校長先生から概要説明を受けた後、学校ごとのグループで次の視点で話し合いました。

- 現在、家庭・地域で取り組んでいること
- 今後、取り組みそうなこと
- 学校からお願いしたいこと（ニーズ）



意見を出し合う「熟議」

その後、グループ発表を行い、すぐに取り組めることについては、各校に持ち帰り、改善に生かされています。

<今後の方向性>

- 地域・PTAの既存活動を継続しつつ、協力範囲を広げるための募集方法の検討
- 学校のニーズに応じた教育活動に直結する支援を強化



熟議による意見の「可視化」

次回は、各学校の学校評価を踏まえ、学校関係者評価を実施します。中学校区における小中連携や学校間接続を円滑にし、学校間で相互に学び合うことで教育の質をさらに高め、学校運営の改善につなげていきます。その結果、子どもたちがより環境を整えるとともに、先生方の働き方改革や働きがい改革につながる、学校運営協議会として機能できるよう努めてまいります。